

着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 運営担当理事
MIZUHO BANK LTD.
Managing Director
杉田 充



シンガポール日本商工会議所の皆さま、みずほ銀行の杉田でございます。この度、前任：河野の後任として、2024年5月末に着任を致しました。会員の皆様方のビジネス活動に少しでもお役に立てますよう、精一杯理事職を務めて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

海外駐在は、中国本土が3拠点（上海、北京、無錫）で計12年、加えまして香港5年にて、東アジアに累計17年。今般のシンガポール赴任が初のアセアン地域の駐在となり、大変身の引き締まる思いでございます。

自己紹介させていただきますと、1995年に入社後、2004年に海外初赴任として上海に参りました。中国語留学経験も無く全くの寝耳に水の人事でございましたが、当時数多くの日系企業が上海に進出していた時期でもあり、皆様方の関係会社様へのご支援を使命として、中国に関する知識も全く無く飛行機に飛び乗った記憶が今でも蘇って参ります。約1年後には、歌手の尾形大作で著名地となっております中国江蘇省無錫に、当時弊行グループは約10年ぶりの海外拠点設立を準備しており、無錫支店開設準備委員として赴任。無錫というと当時は誰もが田舎町をイメージしておりましたが、市内人口が約8百万人、日系企業進出社数も約500社ございまして、中国本土のスケールの大きさを肌身で感じた次第です。支店開業後の運営が軌道に乗りました2010年には、再度上海に呼び戻され、次は日系企業以外の非日系企業専担の営業部門を上海に設立するという使命で、またもや立ち上げに従事。多国籍企業の中国現法や中資系企業（国有企業・民営企業）の営業企画の任を経まして、2012年4月に約8年に亘る一度目の中国本土駐在を終え、日本へ帰国致しました。

本邦勤務時代は、視野を拡げる為にも次は英語圏への異動を希望しておりましたが、3年後の2015年に北京支店異動を拝命、中国本土駐在が再スター

ト。1年後には当時グローバルでプレゼンスを急拡大しておりました中資系企業の専担営業部を北京・上海・香港に設立する特命業務を担い、北京からスライドで香港へ異動。その後の約5年の香港駐在は、19年から始まった民主化運動と20年からの厳しいコロナ規制に迎えられ、諸先輩方が経験された往年の香港の面影はなく激変の時期でございました。この頃には、自他とも認めると申しますか想定通り、22年に中国本土に呼び戻され、北京支店長を拝命、2度目の北京駐在が開始。加えて、対外的には北京日本人会の会長、中国日本商会の金融部会長にも就任し、大使館・日本人学校と連携しながら、会員企業の皆様方のビジネス活動、生活環境のサポートに携えられたことは、私個人においては大変貴重な経験となりました。特に厳しいコロナ規制環境下の中で開催にこぎ着けられました「日中国交回復50周年記念祝賀イベント」は、各企業の枠を超え会員の皆様方と一致団結の上、無事成功となり、心に残る思い出となっております。

さて、みずほグループは2023年4月より、従来4地域に分けておりました海外事業（米州、欧州、アジアオセアニア、東アジア）を3地域に集約（米州、欧州、APAC）し、APAC地域本部をシンガポールへ統合。ここシンガポールに約1,200名の従業員が勤務しており、本年が拠点設立50周年となりますが、各部門・領域において、シンガポール国内およびAPAC地域の発展に貢献して参りたいと存じます。

JCCIの活動におきましても、前職での経験を活用することで、日本とシンガポール・周辺諸国間の経済交流促進、当地における日系企業の発展、会員相互の交流に少しでも貢献していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員企業の皆様、事務局の皆様、ならびにご家族の皆様の益々のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。